防災政管チャレンジブラン 🚱



| 記入日 | 西暦 2020 年 1 月 1 1 日(2019 年度のチャレンジプラン) |
|--|---------------------------------------|
| 実践団体名 | 高知県立大方高等学校 |
| 実践番号(団体内・年度内の通し番号) | 2 |
| タイトル | 避難所運営マニュアル改善提案 |
| 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください、計画時のタイトルと同じである必要はありません | |
| 実践担当者のお名前 | 浦田友香 |

| | T | | |
|---|--------------------|-----|------|
| 実践にかかった金額 | ほぼ0円 | | |
| チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から 該当しな | | | |
| いものを削除し該当するものを1つ残す | | | |
| 実践の準備にかかった時間 | 1 週間 | | |
| 期間ではなく合計時間を書いてください 例:月に1度,1時間程度3回集まった→3時間→数時間 該当しないものを削除し該当す るものを1つ残す | | | |
| 実践活動を実施した日時 | 西暦 2019 年 7 月 23 日 | | |
| 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適 宜削除してください | | | |
| 実践の所要時間 | 1時間 | | |
| 期間ではなく合計時間を書いてください. 例:2時間×2日=4時間 | | | |
| 実践の運営側で動いた人の人数 | | | 5人 |
| 防災教育の対象者の属性 | 高校生 | | |
| 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す | | | |
| (複数可) | | | |
| 防災教育の対象者の人数 | | | 約10人 |
| 実践を行った都道府県と市区町村 | 高知県 | 黒潮町 | |
| 実践を行った具体的な場所 | 黒潮町役場 | | |
| 例:〇〇小学校体育館 | | | |
| ★実践に必要だった特定の能力を | | | |
| 持った人・物品・ツール・知識等 | | | |

防災政管チャレンジブラン



| 達成目標 | ・オリジナルHUG実践により気づいた本校の避難所としての課題を、 | |
|---|----------------------------------|-----|
| 社会的地域的時代的背景や実 践の目的や何を達成しようと したかを書いてください | 改善につなげること。 | |
| どの力を身につけよ | 知識・技能 | かなり |
| うとしましたか? | 思考力・判断力・表現力 | 大いに |
| 該当しないものを削除し該当 するものを1つ残す | 学びに向かう力・人間性 | 大いに |

実践内容・方法

これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません

- ① オリジナルHUG実践で気づいたことをまとめる
 - ・昨年度、「大方高校オリジナルHUG」を作成し、全校生徒で、地域の方と、行政の方と、教職員で、外部の方と…と、たくさんの実践を重ねてきた。
 - ・その度行われてきた議論について「オリジナルHUG」を作成した 「地域学」受講の生徒がまとめた。
- ② オリジナルHUG実践から見えた課題をまとめる
 - ・オリジナルHUG実践をする中で気づいた、既存の避難所運営マニュアルに対する改善案をまとめた。(例えば不足している備蓄物についてや、定められた炊き出し場所やごみ置き場の変更案など)
- ③ 黒潮町役場への提言
 - ・黒潮町役場の情報防災課の職員の方々にお時間を頂き、生徒からマニュアルの改訂案について提言を行った。
 - ・生徒の提案に対して、役場の方から意見を頂くなどして、議論する ことができた。



防災政管チャレンジブラン



得られた成果

どのようなチャレンジをし, その結果何が得られたかを書いてください

- ・オリジナルHUG実践は昨年度まではあくまで机上の訓練としての学 習活動であったが、実際の避難所の改善として具体的な行動につなが った。
- ・生徒が昨年度取り組んだ、本校の実状に合わせた「大方高校オリジナルHUG」の作成が、自らのアイデアで実際に既存のマニュアルの改訂につながる第一歩となった。生徒の自己有用感にもつながったと考えられる。

| 該当しないものを削除し該当 |
|---------------|
| ましたか? |
| どのくらい身につき |

知識・技能かなり思考力・判断力・表現力大いに学びに向かう力・人間性大いに

課題・苦労・工夫

するものを残す

やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください

- ・昨年度生徒たちが作成し、何度も実践したオリジナルHUGの活動を、 実際の避難所運営に活かすというところまで行動に移したことで、生 徒たちは一定の達成感を感じることができたと考えられる。
- ・役場との議論を更に具体化し、実現することは次年度以降に持ち越された。

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体(関係者)について

1 つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名 黒潮町役場情報防災課 関係者の説明 関係者の連絡先

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1 つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手伝えたい内容

ここまで, 実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください